

理事長あいさつ

皆様へ

平素は学校法人 関東学園のために格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに「2019年度事業と財務の概要」を公表するに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

当学園は、大正13年（1924年）に松平濱子により創設され、以来96年「敬和、温順、質実」を建学の精神として受け継ぎながら、自主創造の気風の養成に努め、英知に富み、社会に寄与する人材を育てる「学徳一体の人間教育」を行っております。

なお、2019年度末より、新型コロナウイルス感染症の対策を開始しました。5月からオンラインによる授業、6月から段階的に教室での授業を行っております。

2019年度は、以下のような方針の下、事業活動を行ってまいりました。

【方針】

① 魅力ある教育の提供

地域社会との交流を大事にし、学生・生徒の声に耳を傾け、それに応える学校づくりを行う。学生・生徒が楽しく充実した学校生活を送り、希望の進路を実現し、満足して卒業できる教育を提供する。また、気持ちよく生活できる教育環境を提供する。

② 特色ある学校づくり

経営環境や他の教育機関の動向をしっかりと分析しながら、各学校の魅力・特色を打ち出すため、教育支援、学生生活支援、就職・進路支援において、他の教育機関に無い特色と成果を出すことにより差別化を図り競争力をつける。

③ 目標と情報の共有化

経営改善目標、成功事例等を学園内で共有化することにより、理事会と教職員が一体となり総合力を発揮し経営改善目標を達成していく。また、具体的な目標を教職員全員で共有化することにより、帰属意識を高め、働きがいと誇りを持って学生・生徒の支援や教育にあたることのできるような職場を目指す。

④ 安定した経営基盤の確立

本学の特色ある教育や成果を適切に伝え入学者を確保することにより、収入の増加を図るとともに、経費の削減を実施し、安定的な経営基盤を実現していく。

今後とも当学園に対し、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年9月

理事長 松平 正久